

発寒ひかり
保育園だより

2019年
11月号

巻頭言

今年も園の畑では様々な作物が実り、子どもたちや保護者の応援を得て収穫しました。採れた作物は「野菜バイキング」や「収穫感謝祭（いも掘り）」、そして日々の給食で味わいます。「みんなで採った枝豆おいしいね」「保育園のぶどうだ、やったー」「みんなで掘ったお芋だよ」畑の野菜や果物のことを話しながら、喜んで食べていて嬉しく思いました。また、「この胡瓜はトゲトゲしているから畑のだね」「このじゃが芋はホクホクしているから男爵かな」と種類の違いに気付く声もあり、よく観察して、考えながら食べていることに驚かされました。

「ひかり鍋（石狩鍋）クッキング」では、子どもたちの前で鮭を捌きました。「鮭がかわいそう・・・」「血が出ていて怖い・・・」そう言いながらも、捌く様子を真剣に見つめています。事前に発寒川を遡上する鮭を見ながら、その一生や、命をいただくことを学んでいた（命の講座）ため、命や食の大切さを感じていたと思います。目の前で捌かれた鮭と、自分たちで頑張って切った野菜で作ったひかり鍋の味は特別で、いつも以上に沢山食べていました。クッキングを通して料理の楽しさと大変さを知り、食事を作ってくれる人への感謝の気持ちも大きくなったのではないのでしょうか。

当園の食農育では、食に関わる人々や生き物への感謝の気持ち育てることを目標の一つとしています。動植物の命の尊さを知り、そして保育園の仲間たちと楽しく給食を食べたり、調理員たちと関わったりした経験が、子どもたちの心の栄養になることを願っています。

栄養士 猪子 美樹